

三菱自動車、新型『エクリプス クロス』のPHEVモデルをニュージーランド・豪州に投入

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、新型クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』のPHEVモデルを6月1日にニュージーランドで発売、7月には豪州で発売します。当社は持続可能な社会の実現に向けてプラグインハイブリッドを軸に電動車の普及を促進しており、今回の投入によって商品ラインアップを拡充します。



『エクリプス クロス』PHEVモデル

新型『エクリプス クロス』のPHEVモデルは当社の二車種目となるプラグインハイブリッドEVで、ツインモーター4WD方式のプラグインハイブリッドシステムを『アウトランダーPHEV』から継承し、スポーティな制御に設定しています。力強く滑らかで静かな電動車ならではの加速性能と、車両運動統合制御システムS-AWC*¹による意のままの操縦性と卓越した安定性を実現しました。また、自ら発電できるため、満充電・満タンの状態であれば、V2H*²機器を経由して一般家庭の最大約10日分*³に相当する電力を供給することができ、非常時では頼もしい電力源となります。

当社副社長の矢田部陽一郎のコメント

「ニュージーランドでは『アウトランダーPHEV』の累計販売台数がプラグインハイブリッド及び電気自動車カテゴリーの中で同国最多*⁴となるなど、当社の環境対応車を高くご評価いただいています。『エクリプス クロス』のPHEVモデルは環境性能に加えて、どなたでも安心して楽しめる軽快感のあるハンドリングで走りの魅力を高めています。既に販売を開始している日本と欧州でご好評いただいております、ニュージーランドと豪州のお客様にも自信を持ってお届けいたします」

ご参考：

『エクリプス クロス』は2017年秋に欧州で発売した三菱自動車の世界戦略車で、日米豪など世界100カ国以上で展開し、累計販売台数は27万3千台*⁵に達しています。デザインを

一新した新型『エクリプス クロス』は、ガソリンエンジンモデルを昨年11月に豪州・ニュージーランドで発売し、12月に日本でガソリンエンジンモデルとPHEVモデル、本年2月に欧州でPHEVモデルを投入しました。

*1：Super-All Wheel Control

*2：Vehicle to Home

*3：供給可能電力量は当社試算によるものです（一般家庭での一日当たりの使用電力量を約10kWh/日として算出）。

*4：2002年1月～2021年3月累計販売台数。Waka Kotahi NZ Transport Agencyデータに基づく当社調べです。ニュージーランドでは2014年2月に『アウトランダーPHEV』の販売を開始しました。

*5：2021年4月末時点

以 上